



《 例会 》 毎月第 2 水曜日 19:00~21:00 若松栄町教会 (☎ 0242-27-3944)

2017~2018 年度主題

国際会長	「国境なき友情」
アジア地域会長	「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事 栗本治郎 (熱海)	「広げよう ワイズの仲間」
北東部部長 鈴木伊知郎 (宇都宮東)	「明日のために、いま土台を築こう」
会津クラブ会長 青山孝男	「新しい可能性を秘めて、共に歩もう！」

<No.276 会津通信>
2018 年 4 月 11 日発行

会 長	青山孝男
副会長	高橋眞美
書 記	高橋真人
会 計	高橋真人

◇4月の聖句◇

わたしのためにののしられ、迫害され、身に覚えのないことであらゆる悪口を浴びせられるとき、あなたがたは幸いである。

マタイ福音書 5 章 11

4 月例会プログラム

日時 ; 2018 年 4 月 11 日 (水) 19 : 00~

会場 ; 日本キリスト教団 若松栄町教会
司会 ; 高橋 カリズ

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 開 会 点 鐘 | 青山孝男会長 |
| 2. ワイズソング | 一 同 |
| 3. 会長あいさつ | 青山孝男会長 |
| 4. 連 絡・報 告 | |
| 5. 聖 句 朗 読 | |
| 6. 食前感謝 | GID Association Network 福島
芳賀 啓晃 氏 |
| 7. ゲストスピーチ | テーマ「性の多様性について」 |
| 8. Happy Birthday! Happy Anniversary! | |
| 9. 閉 会 点 鐘 | 青山孝男会長 |

<3 月例会出席状況>

在 籍 者 5 名 ゲスト 0 名

出 席 者 4 名

* 例会出席率 80%

あ か べ こ 0 円

17-18 年度合計 25,000 円

ユニークダンスの誕生

高橋 カリズ



ワイズメンズクラブの仙台青葉城クラブや東京むかでクラブなどで車椅子の人たちと踊るユニークダンスがクラブ事業の一環として行われている。会津にもそれを取り入れようと 8 年間練習に励んだ。呼びかけでも車いすで参加するひとは殆どいなかった。

これではこの地域社会には何の関係も生まれえない。クラブの会員は 5 名になった。会員増強という圧迫観念がのしかかってきた。別にヤケになってではなかった。

ぼくは「5 人で出来ることを生み出そうや」と提案した。車いす生活を余儀なくされている高齢の皆さんが入所している施設に出かけよう、となって若会津若松市郊外の老健施設「美野里」に関わりを求めて、仙台からの指導者の皆さんの手助けもあって第 1 回が実現する。

広いホールには車いすの皆さんが集まっていた。ぐるりとホールを満たすその数はなんと約 70 台。どうやら見物のつもりであつたらしい。

踊りを渋る方々もあって初めは硬い雰囲気だったが、何人かが動き始めると笑い声も出始めた。最初はぎこちなかった輪の中に次第に賑やかさが渦巻いてきた。スタッフさんが声を上げた。

☆ 強い義務感を持つと 義務はすべての権利に伴う。 ☆

「あっ、動かなかった〇〇さんの手がひらひら舞っている！」。決して動かなかった彼女の腕が、なんとひらひらと舞ったのだ。まさにリハビリの現場だ。「〇〇さんの声が聞こえる。わたし始めて聞いた！」。日頃声が出ない男性から声が出たのだ。スタッフさんも引っぱり出して踊ってもらった。曲は水色のワルツ。「なんて優雅なんですよ！」と別のスタッフさんが感涙を浮かべてつぶやいた。さらに約2時間が過ぎて疲れに勝る感動の興奮を抱えながら次回を約束して解散した。次の例会ではその日の写真の数々が話題を呼び、これを励みに恒例化することになった。喜びを共に味わえるこの働きも会津で始めてのこと。ここにもあの風のそよぎを実感する。その後訪問先は5カ所になった。

会津ワイズメンズクラブから2009年「ユニークダンスつばさ」が誕生、独立した。3名の車椅子のご婦人もメンバーになり、ゴスペルの安斉聖子さん、真珠の会の加藤ひろ子さんが加わって、クラブメンバーの青山孝男さん、高橋京子さん、高橋真人牧師、高橋眞美と力。毎月の練習をバネにあちこちの施設を訪問している。

これらの働きは礼拝堂の台所での毎月の例会が出発点なのだ。会津若松ワイズメンズクラブは2013年20周年を祝った。(次回は高橋京子さん)



4月報告(東日本区報より抜粋)

理事メッセージ 東日本区理事 栗本治郎

例年より少し早く桜の季節となりました。既に満開の地域が多いようです。ワイズは、終盤の四半期を迎えています。クラブ会長、部長、区事業主任、部事業主査の皆様には当初立てた方針を振り返り、ラストスパートをお願いします。東日本区大会の基調講演は、バルセロナオリンピックの競泳女子平泳ぎの200メートルで最年少金メダリストに輝いた岩崎 恭子さんです。『今まで生きてきた中で、一番幸せ』の時を共有しましょう。多くの皆様の参加をお願い致します

4月は LT の強調月間です LT はリーダーシップ・トレーニングの略です。ワイズダムにおいては、誰もがリーダーになる可能性があり、全てのメンバーに対しての研修が必要です。東日本区では、区 LT 委員会が、10月に次期部長・事業主任研修会、4月に次期クラブ会長・部役員研修会を行っています。部においてもクラブ役員研修会が実施されております。区 LT 委員の出張研修も可能です。部会、区

大会、地域大会、国際大会に出席すること も研修になります。他クラブ例会への出席も交流が深まり、情報交換にもなり良い研修になります。

会津の先人たち (会津若松市 HP より)

アメリカ移民日本女性第一号

おけい (出生不詳～1871)

ゴールドラッシュ

会津藩の敗戦後、スネルは藩主松平容保に、ゴールドラッシュにわくカリフォルニアの話をして、藩士らで金鉱を探し、アメリカでの農場経営を勧めました。その了解を得て、明治2年、スネルらの移民団はチャイナ号で横浜を出航しました。

ワカマツコロニー

一行はゴールドヒルに土地を購入。「ワカマツコロニー」と名付け、日本から持参した茶や桑の栽培を試みます。しかし、間もなく栽培は失敗し、資金難からコロニーは解体、移民団はちりぢりとなります。

子守りのため、スネル一家とともに移民団にいた18歳のおけいは、ビーア・キャンプに引き取られます。利発なおけいは、家事を手伝い、かわいがられました。しかし、翌年、突然高熱に襲われ、19歳で亡くなります。亡骸(なきがら)は、入植地が見える丘に葬られました。



旧藩士 桜井松之助

十数年後、同じ移民団の桜井松之助らによっておけいの墓碑が建てられます。松之助は旧藩士で、同じくキャンプ家に引き取られ、67歳で亡くなっています。会津若松市には32年に同じ墓が建てられ、今も背炙山(せあぶり)から故郷を見つめています。(次回は 近代女性の先駆者新島 八重 (にいじま やえ))

◆ 今後の予定 ◆

- ◇5月例会 5月9日
北東部長訪問例会
- ◇ユニークダンス
5月23日 午後7時～
場所：アガッセ